



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月9日

上場会社名 レシップホールディングス株式会社 上場取引所 東・名
 コード番号 7213 URL <https://www.lecip.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 杉本 眞
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 品川 典弘 TEL 058-324-3121
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績 (2025年4月1日～2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	15,462	△1.8	790	△56.0	952	△52.1	900	△27.7
2025年3月期第3四半期	15,738	34.0	1,795	213.4	1,987	174.2	1,246	205.2

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 912百万円(△15.8%) 2025年3月期第3四半期 1,083百万円(258.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	58.39	—
2025年3月期第3四半期	85.21	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	20,294	10,740	52.9	694.22
2025年3月期	20,403	10,100	49.5	656.86

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 10,740百万円 2025年3月期 10,100百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00
2026年3月期	—	0.00	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	—	—	13.50	13.50

(注1) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注2) 2025年3月期期末配当金の内訳 普通配当11円50銭、特別配当8円50銭

3. 2026年3月期の連結業績予想 (2025年4月1日～2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△7.4	1,100	△68.9	1,100	△68.4	800	△64.5	52.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	15,891,500株	2025年3月期	15,891,500株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	420,449株	2025年3月期	514,676株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	15,422,053株	2025年3月期3Q	14,624,952株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9
(重要な後発事象)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、引き続き好調なインバウンド需要に加え、個人消費も底堅く推移したことから、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、物価上昇の長期化や人手不足の深刻化が消費マインドに影響を与えるなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループを取り巻く経営環境においては、主要な取引先であるバス・鉄道業界における輸送量は回復基調を維持し、設備投資意欲も底堅く推移しました。しかしながら、業界全体としては深刻な人手不足やコスト高騰への対応が喫緊の課題となっております。このような状況下、前年同期に売上を大きく押し上げた新紙幣発行に伴う特需が一巡したことにより、関連設備の需要は大幅に減少いたしました。また、依然として高水準で推移する原材料価格等への対応として、引き続きコスト低減や価格交渉に鋭意取り組んでおります。

このような経営環境のなか、当社グループにおきましては、2021年4月より開始いたしました長期ビジョン「VISION2030」と、長期ビジョンの実現に向けたアクションプランとして、2021年度から2030年度までの10年間で3つのフェーズに分けた中期経営計画を策定し、取り組みを行っています。2024年4月からは、中期経営計画「RT2026(Reach our Target 2026)」について、取り組みを進めております。

中期経営計画「RT2026」の戦略は大きく2つ、事業構造の変革に向けた基本戦略と、それを支える全社戦略です。これらの戦略に基づき、持続的に成長できる事業構造への変革を目指します。基本戦略は、①「海外事業の確立」、②「新規領域の拡大」、③「収益性・効率性の追求」、全社戦略は、④「経営効率の向上」、⑤「新たな企業文化の醸成」とし、5つの課題に向けた取り組みに注力しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の連結業績につきましては、売上高は154億62百万円(前年同期比2億76百万円減、1.8%減)、営業利益は7億90百万円(前年同期比10億5百万円減、56.0%減)、経常利益は9億52百万円(前年同期比10億35百万円減、52.1%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億円(前年同期比3億45百万円減、27.7%減)となりました。

セグメント別の業績は以下の通りです。

[輸送機器事業]

当事業の売上高は、126億65百万円(前年同期比9百万円増、0.1%増)、営業利益は7億84百万円(前年同期比8億68百万円減、52.5%減)となりました。

市場別の売上高は、バス市場が94億71百万円(前年同期比4億87百万円増、5.4%増)、鉄道市場が24億32百万円(前年同期比4億37百万円減、15.2%減)、自動車市場が7億61百万円(前年同期比40百万円減、5.0%減)となりました。

バス市場につきましては、前年にあった新紙幣発行に伴う運賃箱の改造・ソフト改修の売上などが減少したものの、米国向けAFC(運賃収受システム)大型案件の売上計上が寄与し、増収となりました。

鉄道市場につきましては、米国向け列車用LED灯具や、前年にあった新紙幣発行に伴う運賃箱の改造・ソフト改修の売上などが減少し、減収となりました。

自動車市場につきましては、自動車用LED灯具において、主要顧客における製品のモデルチェンジに伴い、当社製品の採用が減少したことにより、減収となりました。

損益面につきましては、商品構成の変化により、減益となりました。

[産業機器事業(エネルギーマネジメントシステム事業)]

当事業の売上高は、27億68百万円(前年同期比2億85百万円減、9.3%減)、営業利益は54百万円(前年同期比1億23百万円減、69.3%減)となりました。

市場別の売上高は、電源ソリューション市場が18億7百万円(前年同期比5億88百万円減、24.6%減)、EMS市場が9億61百万円(前年同期比3億3百万円増、46.0%増)となりました。

電源ソリューション市場につきましては、バッテリー式フォークリフト用充電器の売上が減少したほか、LED電源の生産終了に伴う売上減少により、減収となりました。

EMS市場につきましては、自動車向け基板実装売上が増加し、増収となりました。

損益面につきましては、減収により減益となりました。

[その他]

当事業の売上高は27百万円、営業利益は3百万円となりました。事業の内容は、主としてレシップホールディングス株式会社による不動産賃貸業であります。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

当第3四半期連結会計期間末の総資産は202億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8百万円減少いたしました。主な要因は、商品及び製品が9億90百万円、現金及び預金が8億28百万円、仕掛品が6億円増加した一方で、受取手形及び売掛金が27億25百万円減少したこと等によるものであります。

負債は95億54百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億48百万円減少いたしました。主な要因は支払手形及び買掛金が2億3百万円増加した一方で、短期借入金金が5億46百万円、未払法人税等が2億11百万円、賞与引当金が2億6百万円減少したこと等によるものであります。

純資産は107億40百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億40百万円増加いたしました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益9億円の計上、配当金の支払により利益剰余金が5億86百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年5月9日の決算短信にて公表しました予想からの変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,073,769	2,901,978
受取手形及び売掛金	5,964,081	3,238,798
商品及び製品	2,497,149	3,488,096
仕掛品	708,071	1,308,434
原材料及び貯蔵品	4,148,480	4,113,379
その他	696,498	931,764
貸倒引当金	△6	△4
流動資産合計	16,088,045	15,982,447
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,537,932	1,475,220
その他(純額)	1,089,664	1,201,162
有形固定資産合計	2,627,596	2,676,383
無形固定資産		
	294,449	250,998
投資その他の資産		
投資有価証券	750,496	887,354
その他	685,255	539,064
貸倒引当金	△42,650	△41,800
投資その他の資産合計	1,393,102	1,384,619
固定資産合計	4,315,148	4,312,001
資産合計	20,403,193	20,294,448
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,088,846	1,291,952
電子記録債務	2,544,878	2,591,174
短期借入金	586,320	40,000
1年内返済予定の長期借入金	559,687	548,872
未払法人税等	263,776	52,685
前受金	2,204,399	2,100,716
賞与引当金	427,239	220,460
製品保証引当金	127,587	134,140
受注損失引当金	36,438	189,544
子会社清算損失引当金	66,000	9,720
その他	1,495,955	1,291,816
流動負債合計	9,401,129	8,471,083
固定負債		
長期借入金	388,586	465,610
役員報酬BIP信託引当金	80,268	80,268
その他	432,866	537,124
固定負債合計	901,720	1,083,002
負債合計	10,302,849	9,554,086

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,718,223	1,718,223
資本剰余金	1,747,974	1,751,209
利益剰余金	6,939,698	7,526,657
自己株式	△226,107	△187,884
株主資本合計	10,179,788	10,808,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	224,801	312,932
為替換算調整勘定	△304,246	△380,775
その他の包括利益累計額合計	△79,444	△67,843
純資産合計	10,100,344	10,740,362
負債純資産合計	20,403,193	20,294,448

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	15,738,518	15,462,395
売上原価	10,316,794	10,863,282
売上総利益	5,421,724	4,599,112
販売費及び一般管理費	3,625,980	3,808,375
営業利益	1,795,744	790,737
営業外収益		
受取配当金	17,078	21,040
為替差益	168,472	152,256
受取奨励金	—	10,015
その他	51,387	25,123
営業外収益合計	236,938	208,435
営業外費用		
支払利息	17,311	13,390
支払手数料	—	26,422
技術支援費用	10,508	—
株式交付費	14,448	—
その他	2,613	7,141
営業外費用合計	44,882	46,954
経常利益	1,987,800	952,218
特別利益		
補助金収入	—	298,324
特別利益合計	—	298,324
特別損失		
減損損失	9,186	21,438
固定資産廃棄損	2,970	1,578
特別損失合計	12,156	23,016
税金等調整前四半期純利益	1,975,644	1,227,526
法人税、住民税及び事業税	514,038	223,325
法人税等調整額	215,474	103,687
法人税等合計	729,513	327,013
四半期純利益	1,246,131	900,513
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,246,131	900,513

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,246,131	900,513
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△43,952	88,130
為替換算調整勘定	△119,150	△76,529
その他の包括利益合計	△163,102	11,601
四半期包括利益	1,083,028	912,114
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,083,028	912,114
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業 (エネルギー マネジメント システム事業)	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,656,597	3,053,925	15,710,522	27,996	15,738,518
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,656,597	3,053,925	15,710,522	27,996	15,738,518
セグメント利益	1,653,355	177,861	1,831,216	6,628	1,837,844

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,831,216
「その他」の区分の利益	6,628
全社費用(注)	△42,100
四半期連結損益計算書の営業利益	1,795,744

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、9,186千円の減損損失を計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他(注)	合計
	輸送機器事業	産業機器事業 (エネルギー マネジメント システム事業)	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,665,811	2,768,587	15,434,398	27,996	15,462,395
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,665,811	2,768,587	15,434,398	27,996	15,462,395
セグメント利益	784,552	54,617	839,169	3,091	842,261

(注) 「その他」の区分は、主として不動産賃貸事業であります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	839,169
「その他」の区分の利益	3,091
全社費用(注)	△51,523
四半期連結損益計算書の営業利益	790,737

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門にかかる費用であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「輸送機器事業」セグメントにおいて、21,438千円の減損損失を計上しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
減価償却費	446,312千円	510,376千円

(重要な後発事象)

該当事項はありません。